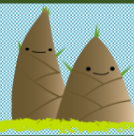




小倉南交通安全だより



小倉南警察署
交通課交通総務係
令和6年1月11日

～交通事故発生状況(小倉南署管内)～

【1】交通事故発生状況 令和5年 確定値

	発生件数	死者数	傷者数
福岡県下 (前年対比)	20,173件 (+305件)	103人 (+28人)	25,699人 (+414人)
小倉南警察署 (前年対比)	789件 (-67)	3人 (-2人)	1,024人 (-85人)

【2】死亡事故概要

①	発生日時	場所	道路種別	事故形態等	備考
1	1月10日(火) 18:19	北方3-37	市道	軽四乗用車×歩行者 衝突	死亡 75歳女性
2	6月24日(土) 3:10	田原3-2	市道	自転車単独	死亡 51歳男性
3	7月22日(土) 11:35	志井1925	市道	自動車単独	死亡 79歳男性

【3】高齢者関連交通事故発生状況

	発生件数	死者数	傷者数	備考
福岡県下 (前年対比)	6,835件 (+287件)	62人 (+18人)	3,464人 (-34人)	死者数の60.2% が高齢者
小倉南警察署 (前年対比)	270件 (-55件)	2人 (-3人)	152人 (-23人)	死者数の66.7%が 高齢者

【4】交差点(交差点付近を含む)事故発生状況

	発生件数	死者数	傷者数	備考
福岡県下 (前年対比)	11,032件 (+172)	66人 (+30人)	13,715人 (+213人)	発生の54.7%が交 差点付近
小倉南警察署 (前年対比)	426件 (-41件)	3人 (+3人)	534人 (-63人)	発生の54.0%が交 差点付近

【5】飲酒運転事故発生状況

	発生件数	死者数	傷者数
福岡県下 (前年対比)	87件 (-4件)	6人 (+3人)	113人 (-11人)
小倉南警察署 (前年対比)	4件 (+1人)	0人 (±0人)	4人 (+1人)

【6】自転車事故発生状況

	発生件数	死者数	傷者数
福岡県下 (前年対比)	3,203件 (-18件)	12人 (+7人)	3,112人 (-20人)
小倉南警察署 (前年対比)	107件 (+5件)	1人 (±0人)	103人 (+2)

交通事故の傾向

○福岡県下の交通事故状況

- ・発生件数、死者数、傷者数、全てが増加しました。
- ・高齢者関連事故は発生件数、死者数ともに増加しました。
- ・飲酒事故関連事故、自転車関連事故ともに、発生件数、傷者数は減少していますが、死者数は増加しました。
- ・死者数の6割以上が高齢者となっています。

○小倉南署管内の交通事故状況

- ・発生件数、死者数、傷者数全てが減少しました。
- ・高齢者関連事故、自転車関連事故ともに減少傾向にありますが、飲酒関連事故は、増加傾向にあります。
- ・飲酒事故関連事故、自転車関連事故ともに、発生件数、傷者数ともに増加しました。

今年に入って、交通死亡事故が激増しています。
交通死亡事故抑止緊急対策が実施されています。
皆さん！安全運転で交通事故のない街づくを目指しましょう！！

守ろう、大切な命を！ 「よく見る、早く見つける！」

- ◆明るい服装や反射材を着用しましょう！
自分の存在をアピールしましょう！
- ◆横断歩道を渡る時は、
「止まって、見て、合図を出して、待って」渡りましょう！
自分で安全を確かめましょう！
- ◆横断歩道手前で減速し、
歩行者がいるときは、
必ず、一時停止しましょう！
- ◆早めのライト点灯・ハイビームの活用して、
危険を早期に発見しましょう！



飲酒運転撲滅！

昨日のお酒、残っていませんか？

○深酒による二日酔い状態等で運転をすると
飲酒運転になります！

- ・体調やお酒の酒類によってお酒の消化時間は違います。
- ・アルコールの分解には時間がかかります。
- ・翌日、運転をする人は要注意！

アルコールの正しい知識を持ちましょう！

アルコールの分解に必要な時間の目安 いすれかを飲めば

ビールであれば 1杯 焼酎であれば 1杯 チョーハイであれば 1杯 ワインであれば 1杯

500mL 水割り(5:5) 1杯 350mL 200mL 1杯

4時間以上 (女性は5時間以上)

※体調・体質・アルコール濃度によっては、さらに時間が掛かります。
「どれだけお酒を飲んでも、一晩寝れば大丈夫」は大間違いです。
1杯飲んだら約4時間(女性は約5時間)は分解されません。

飲酒運転は、
しない！させない！許さない！
そして見逃さない！

全ての自転車利用者の ヘルメット着用が努力義務に！

道路交通法の改正に伴い、
令和5年4月から、全ての自転車利用者に自転車
ヘルメット着用の努力義務になりました。

- ◆自転車乗車時には、頭部を保護し、交通事故や転倒による被害を軽減するため、ヘルメットを着用しましょう！
- ◆学校・企業で「自転車ヘルメット着用推進」に取組みませんか！

家庭、地域、企業から自転車ヘルメットを着用して、安全で、楽しい自転車ライフを！！

ヘルメットを被って、
自分を守ろう！

